

第2回 大和郡山市福祉ゾーン整備審議会 次第

1. 日時

令和2年2月18日（火） 午後2時00分 開会

2. 場所

大和郡山市社会福祉会館 2階 会議室

3. 議題

(1) 前回の振り返り

(2) 大和郡山市社会福祉会館及び老人福祉センターの現状について
(※現地視察を含む)

(3) 今後の検討事項について

(4) その他

第2回大和郡山市福祉ゾーン整備審議会

「大和郡山市社会福祉会館及び老人福祉センターの現状」

1. 前回の審議会の振り返り

1) 委員各位からの意見・質疑

	質問事項	前回の回答	補 足
1	本市の母子世帯・父子世帯数の推移について知りたい。		別添資料 参照
2	福祉ゾーンの先進地事例を知りたい。		令和2年度以降の審議会にて資料提示
3	老人福祉センターを利用している実人数を知りたい。		別添資料 参照
4	公共施設管理計画の中で、老人センターやその他の施設の更新は規定されているのか。	具体的な記載はない。	
5	老人福祉センター・社会福祉会館だけについて検討するのか。駐車場以外の多目的広場や体育館の設置なども検討するのか。	それらも含めた福祉ゾーンで検討願いたい。	
6	建て替え・改修など、それぞれのメリット・デメリットを知りたい。		令和2年度以降の審議会にて資料提示
7	福祉ゾーンの位置づけ、機能を決めてから、センターの廃止か耐震化を決めたほうがいいのではないのか。		現状の機能を基本とし、今後新たに実施することが求められている事業に必要な機能を考慮し、それをベースに将来構想をまとめていきたい。
8	総合計画に福祉ゾーンに関する規定はあるのか。ないのならこの審議会でも老人福祉センターの更新・廃止、会館の耐用年数などから検討すべきではないか。	福祉ゾーン整備について、令和3年3月の総合計画の見直しの中に盛り込みたい。施設の老朽化等については現場視察を実施後、資料を随時提示予定。	
9	地域福祉計画の具体的な中身の中に、今回対象施設に関する記載はないのか知りたい。	計画では社会福祉協議会の取り組みと合わせ、福祉の活動拠点が社会福祉会館になると考えている。権利擁護センター設置については記載があり、令和3年開設を考えている。設置場所等社会福祉協議会とこれから検討していく予定。	

2. 大和郡山市社会福祉会館について

1) 社会福祉会館の概要

社会福祉会館は昭和53年7月に開設し、1階は社会福祉協議会事務室をはじめ、聴覚言語障害者研修室、発達支援センターめばえ、機能回復体育訓練場等、2階は福祉団体会議室、ボランティア室等、3階は大研修室があり、地域福祉活動の拠点としての役割を果たしている。

構 造	建築面積	延べ床面積	指定管理者	建築年
鉄筋コンクリート造3階建	1361.78 m ²	2299.52 m ²	大和郡山市社会福祉協議会	S53

(耐震診断調査結果)

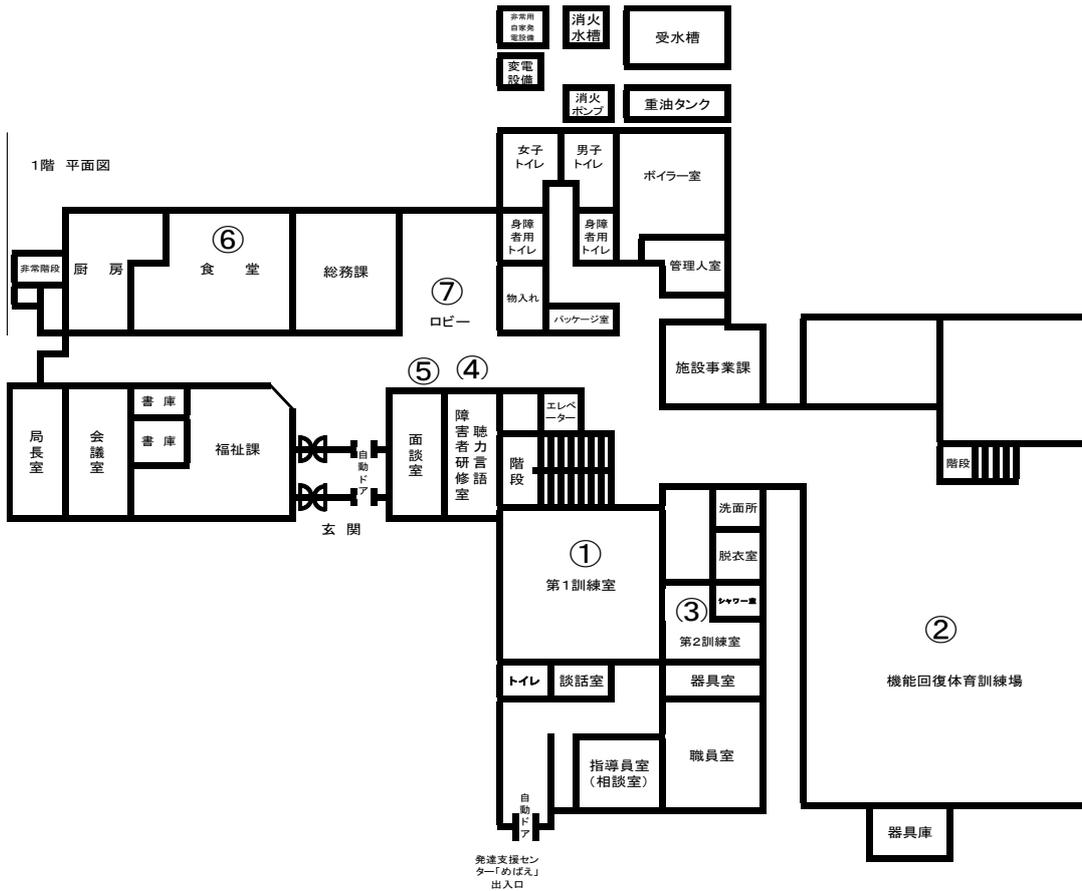
階数	Is 値(X方向)	Is 値(Y方向)	判定
1	0.77	0.82	A
2	1.00	0.99	
3	0.97	1.51	

2) 直近2か年 社会福祉会館運営事業費 決算額

H29	地域包括ケア推進課執行分		社会福祉協議会委託料分		合計額
	光熱水費	3,313,714 円	人件費	9,150,758 円	
	修繕費	3,735,946 円	業務委託費	5,333,868 円	
	その他	1,425,036 円	その他	2,433,970 円	
	計	8,474,696 円	計	16,918,596 円	

H30	地域包括ケア推進課執行分		社会福祉協議会委託料分		合計額
	光熱水費	2,669,993 円	人件費	8,805,730 円	
	修繕費	223,853 円	業務委託費	5,333,868 円	
	その他	1,442,156 円	その他	1,886,952 円	
	計	4,336,002 円	計	16,026,550 円	

3) 社会福社会館の施設の現状及び利用状況



各部屋の概要

① 発達支援センター「めばえ」(職員室・相談室・談話室・器具庫含む)

	概 要	備考
	<p>障がい児通園(デイサービス)事業を実施している。</p> <p>平成 30 年度利用実績 延べ 3,300 人</p> <p>(現状と課題) 県道拡幅に伴い、令和元年度に施設改修を完了した。</p>	<p>面積:38.25 m² 定員 15 人</p>

② 機能回復体育訓練場

	概 要	備考
	<p>生活介護事業利用者や心身障がい者(児)の運動などに利用している。</p> <p>平成 30 年度利用実績 延べ 1,258 人</p> <p>(現状と課題) 雨漏り等、設備の老朽化が見られるが、利用者が限定されることから今後の施設の維持をどうするか検討する必要がある。</p>	<p>面積:453.4 m² 定員 50 人</p>

③ 1階 温浴室(更衣室を含む)

	概 要	備考
	<p>心身障がい者(児)に対するシャワー設備している。</p> <p>平成 30 年度利用実績 11 人</p> <p>(現状と課題) 車イスに乗ったまま利用可能な構造であり、生活介護事業において、夏場に一部利用者のシャワー浴に利用するが、頻度は少ない。</p>	<p>面積:11.2 m² 定員 5 人</p>

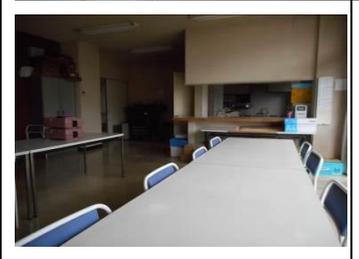
④ 1階 聴力言語障害者研修室

	概 要	備考
	<p>聴覚障害者協会・手話の会・金魚の会・あじさいの会等の聴力言語障害者団体が、資料等保管スペースとして利用している。</p> <p>平成 30 年度利用実績 740 人</p> <p>(現状と課題) 数人での会議・打合せの利用は可能であるが、会議等を行う際は殆ど他の部屋を利用している。</p>	<p>面積:19.5 m² 定員 10 人</p>

⑤ 1階 面談室(旧 視覚障害者研修室)

	概 要	備考
	<p>視覚障害者のため部屋ではあるが利用が少ないため、各種個別相談や、福祉課の資材保管スペースとしても利用している。</p> <p>(現状と課題) 面積はあるが入口が1つで、個別面談を複数同時に実施することが出来ない。</p>	<p>面積:38.25㎡ 定員 15人</p>

⑥ 1階 食堂・厨房

 	概 要	備考
	<p>交流事業、サロン事業等各種事業において、調理実習やランチスペースとして利用。また少人数の打合せなどにも利用している。</p> <p>平成30年度利用実績 1,332人</p> <p>(現状と課題) 電気容量の制約から、既設以外の電気を使う調理器具の使用は基本控える必要がある。</p>	<p>面積:71.8㎡ 定員 20人</p>

⑦ 1階 ロビー

	概 要	備考
	<p>会館利用者のフリースペースであり、テレビには聴覚障害者向け放映の受信装置を設置している。</p> <p>(現状と課題) 駐車場からの来場者はロビー北側より来館することになり、正面入口からの来館者より多い日もある。</p>	<p>面積:33.8㎡ 定員 20人</p>

⑧ 2階 しらゆり(母子コーナー)

	概 要	備考
	<p>白百合会、手話の会、OHP金魚等が、ひとり親家庭のための福祉活動の場として利用している。ひとり親家庭の子どもを対象にした学習会や、親子体操教室、相談の場として利用されている。また各種福祉団体の会議等室として活用されることもある。</p> <p>平成 30 年度利用実績 704 人</p> <p>(現状と課題) ひとり親家庭のための部屋であるが、各種団体の会議等の部屋としても使用されることもあり、ひとり親家庭の専用室として機能は薄れている。</p>	<p>面積:34.2 m² 定員 20 人</p>

⑨ 2階 和室

	概 要	備考
	<p>郡山北地区民生児童委員協議会、肢体不自由(児)父母の会、自立支援協議会、断酒会などが、打ち合わせや余暇活動の場として利用している。</p> <p>平成 30 年度利用実績 464 人</p> <p>(現状と課題) 会議では椅子がある部屋が好まれ、他の部屋が利用で出来ない場合に和室が使用される。</p>	<p>面積:44.25 m² 定員 20 人</p>

⑩ 2階 視覚障害者研修室(小研修室)

	概 要	備考
	<p>本来、視覚障害者用会議等スペースであるが、各種団体の資料保管場所として利用している。</p> <p>平成 30 年度利用実績 なし</p> <p>(現状と課題) 特になし</p>	<p>面積:42.19 m² 定員 20 人</p>

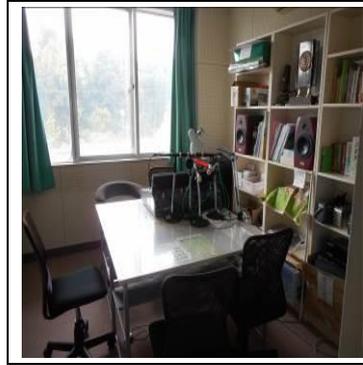
⑪ 2階 ボランティア室

	概 要	備考
	<p>心身障がい者(児)連絡協議会、自立支援協議会、肢体不自由児父母の会、手話の会、ともしび、断酒会、奈良県自閉症協会等各種団体が、会議・点訳作業等に利用している。</p> <p>平成 30 年度利用実績 4,005 人</p> <p>(現状と課題) 主たる貸出室となっており、利用頻度も高く利用の希望に添えない場合もある。</p>	<p>面積:66.0 m² 定員 30 人</p>

⑫ 2階 会議室(福祉団体会議室)

	概要	備考
	<p>OHP 金魚、郡山北地区民生児童委員協議会、郡山西地区民生児童委員協議会、大和郡山市保護司会、郡山地区社会福祉協議会、手話の会、白百合会、手をつなぐ育成会などが、会議・研修会・講座・学習会などに利用している。</p> <p>平成 30 年度利用実績 6,977 人</p> <p>(現状と課題) 主たる貸出室となっており、利用頻度も高く利用の希望に添えない場合もある。</p>	<p>面積:81.0 m² 定員 50 人</p>

⑬ 2階 録音室(録音室・作業室)

	概要	備考
	<p>市広報紙『つながり』の視覚障害者向け音訳作業、心身障がい者(児)及び母子福祉の増進に関する事業、各種福祉相談、社会奉仕活動、社会福祉関係諸団体の育成及び団体相互の連絡調整等に利用している。</p> <p>平成 30 年度利用実績 201 人</p> <p>(現状と課題) 特になし</p>	<p>面積:42.19 m² 定員 5 人</p>

⑭ 3階 大研修室(大研修室 A・大研修室 B・控室)

	概要	備考
	<p>郡山地区社会福祉協議会、手話の会、白百合会、手をつなぐ育成会、やまびこ等が、各種会議・研修・講演会・教室に利用している。</p> <p>平成 30 年度利用実績 4,993 人</p> <p>(現状と課題) 床暖房等の設備を備えた部屋で、床に座る形で座布団等の備品や、これに見合う低床の机等は完備しているものの、高齢者の方々には椅子を必要とする方も多く、これに見合う椅子・机等の備品がない。</p>	<p>面積:300.12 m² 定員 205 人</p>

3. 大和郡山市老人福祉センター(ゆたんぼ)について

1) 老人福祉センターの概要

老人福祉センターは昭和46年10月建築で、市内在住の60歳以上の方が利用できる。高齢者の各種相談に応じるとともに健康の増進、教養の向上、及びレクリエーションの場として、いきがいくりの推進を図っており、施設内には大浴場、食堂も備えられている。

構造	建築面積	延べ床面積	指定管理者	建築年
鉄筋コンクリート造2階建	720.92 m ²	1,167.37 m ²	大和郡山市社会福祉協議会	S46

(耐震診断調査結果)

施設名	階数	Is 値(X方向)	Is 値(Y方向)	判定
東館	1	0.82	0.31	B
	2	1.04	0.49	
西館	1	0.74	0.42	B
	2	0.87	0.60	

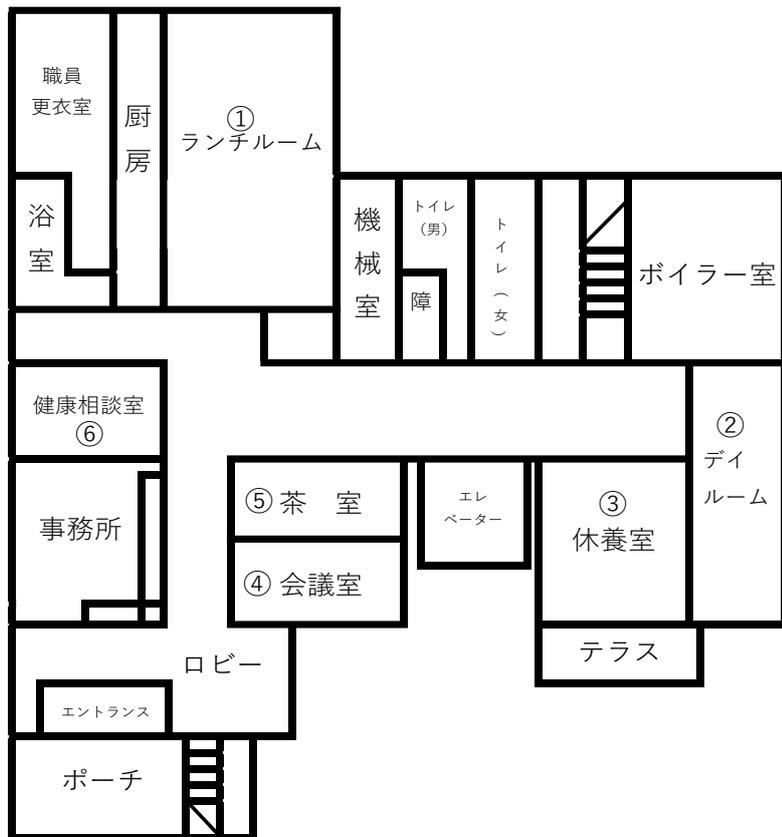
2) 直近2か年 老人福祉センター運営事業費 決算額

H29	地域包括ケア推進課執行分		社会福祉協議会委託料分		合計額
	光熱水費	2,882,107 円	人件費	23,087,284 円	44,083,652 円
	修繕費	57,477 円	業務委託費	6,185,916 円	
	その他	781,148 円	その他	11,089,720 円	
	計	3,720,732 円	計	40,362,920 円	

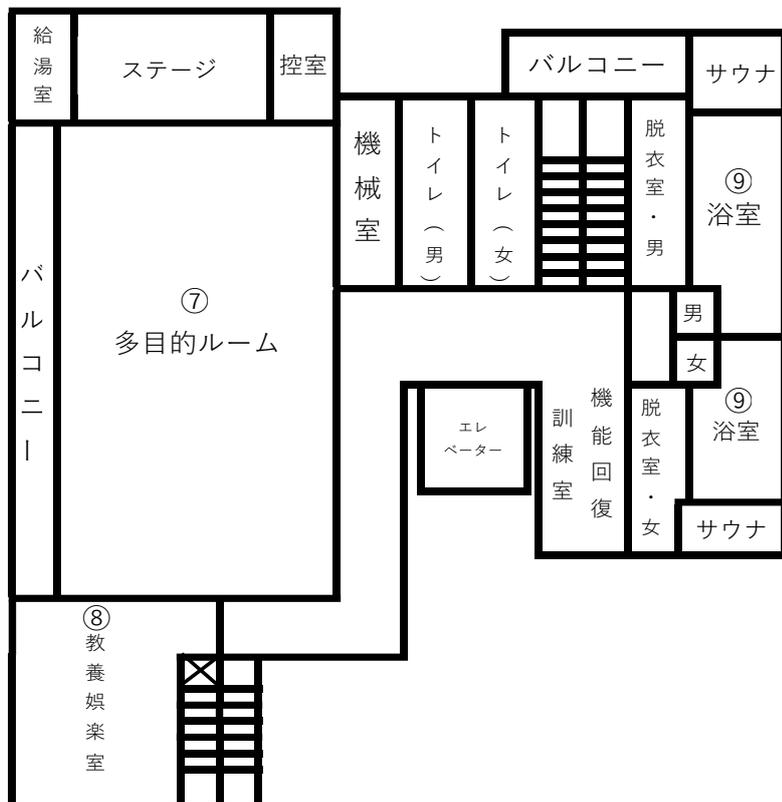
H30	地域包括ケア推進課執行分		社会福祉協議会委託料分		合計額
	光熱水費	2,350,129 円	人件費	22,051,070 円	42,169,998 円
	修繕費	599,400 円	業務委託費	5,800,261 円	
	その他	881,592 円	その他	10,487,546 円	
	計	3,831,121 円	計	38,338,877 円	

3) 老人福祉センターの現状及び利用状況

1階平面図



2階平面図



各部屋の概要

① 1階 ランチルーム

	概 要									備考
	1食 190円で食事を提供している。									面積:46.8㎡ 定員 30人
	(平成 30 年度利用者)									
	月	4	5	6	7	8	9	10	11	
	一般	600	616	612	555	587	571	578	627	
	団体	294	256	303	290	290	203	366	274	
合計	894	872	915	845	877	774	944	901		
(現状と課題) 食堂経営には必要だが、団体・一般とも利用者が減っており、特に一般利用者が減っている					12	1	2	3	合計	
					469	479	489	561	6,744	
					298	250	337	231	3,392	
					767	729	826	792	10,136	

② 1階 ディルーム

	概 要		備考
	高友会会議、単体クラブ会議、手芸等で利用している。		面積:38.25㎡ 定員 15人
	週延べ10人前後が利用。		
(現状と課題) フリールームとして利便性が高い。			

③ 1階 休養室

	概 要		備考
	休養室、フリールームとして利用している。		面積:31.6㎡ 定員 30人
	一日5人前後が利用。		
(現状と課題) フリールームとして利便性が高い。			

④ 1階 会議室

	概 要	備考
	<p>大和郡山市高友会連合クラブ事務所として利用している。</p> <p>月 1, 2 回利用。</p> <p>(現状と課題) 役員からは必要との意見がある。フリールームとして利便性が高い。</p>	<p>面積:18 m² 定員 8 人</p>

⑤ 1階 茶室

	概 要	備考
	<p>倉庫として利用している。</p> <p>(現状と課題) 茶道以外使用できなく必要無いと考えられる。</p>	<p>面積:21 m² 定員 8 人</p>

⑥ 1階 健康相談室

	概 要	備考
	<p>体調を崩した方が利用。ここ数年実績なし。</p> <p>(現状と課題) 必要無いと考えられる。</p>	<p>面積:19.5 m² 定員 8 人</p>

⑦ 2階 多目的ルーム

	概 要	備考															
	<p>高友会単体クラブ・一般 (カラオケ)、高年者教養大学 ゆたんぼまつり、囲碁・将棋大会、浪曲、レクレーション で利用している。</p> <table border="0"> <tr> <td>教養大学</td> <td>100 人 (6 月～2 月 計 9 回)</td> <td rowspan="6"> <p>年間利用人数</p> <p>団体 3,941 人</p> <p>一般 35,378 人</p> <p>合計 39,319 人</p> </td> </tr> <tr> <td>ゆたんぼまつり</td> <td>6 日間で 796 人</td> </tr> <tr> <td>囲碁大会</td> <td>57 人 (5, 7, 9, 10, 11, 1, 3 月 計 7 回)</td> </tr> <tr> <td>将棋大会</td> <td>32 人 (4, 6, 8, 9, 10, 12, 2 月 計 6 回)</td> </tr> <tr> <td>太極拳利用</td> <td>28 人 (第 1・2・3 土曜日)</td> </tr> <tr> <td>カラオケ</td> <td>団体・一般で 1 日 40 組</td> </tr> <tr> <td>浪曲</td> <td>11 月～12 月 20 回</td> <td></td> </tr> </table> <p>(現状と課題) 多数の参加行事を行うには必要だが、利用者からは椅子を希望する声が多い。</p>	教養大学	100 人 (6 月～2 月 計 9 回)	<p>年間利用人数</p> <p>団体 3,941 人</p> <p>一般 35,378 人</p> <p>合計 39,319 人</p>	ゆたんぼまつり	6 日間で 796 人	囲碁大会	57 人 (5, 7, 9, 10, 11, 1, 3 月 計 7 回)	将棋大会	32 人 (4, 6, 8, 9, 10, 12, 2 月 計 6 回)	太極拳利用	28 人 (第 1・2・3 土曜日)	カラオケ	団体・一般で 1 日 40 組	浪曲	11 月～12 月 20 回	
教養大学	100 人 (6 月～2 月 計 9 回)	<p>年間利用人数</p> <p>団体 3,941 人</p> <p>一般 35,378 人</p> <p>合計 39,319 人</p>															
ゆたんぼまつり	6 日間で 796 人																
囲碁大会	57 人 (5, 7, 9, 10, 11, 1, 3 月 計 7 回)																
将棋大会	32 人 (4, 6, 8, 9, 10, 12, 2 月 計 6 回)																
太極拳利用	28 人 (第 1・2・3 土曜日)																
カラオケ	団体・一般で 1 日 40 組																
浪曲	11 月～12 月 20 回																

⑧ 2階 教養娯楽室

	概 要	備考
	<p>各種教室（民踊・社交ダンス・民謡・新舞踊・詩吟）、 囲碁・将棋の愛好者が利用している。</p> <p>民踊教室 第1・3月曜日（月2回 1回平均10人） 民謡教室 第1・3水曜日（月2回 1回平均9人） 社交ダンス教室 第2・4水曜日（月2回 1回平均11人） 新舞踊教室 毎週木曜日（月4回 1回平均7人） 詩吟教室 毎週金曜日（月4回 1回平均7人） 各教室が無い日は、囲碁・将棋愛好者約20人前後が利用</p> <p>（現状と課題） フリールームとしてあれば便利、また利用者からは椅子を希望する声が多い。</p>	<p>面積:65.3 m² 定員 50人</p>

⑨ 2階 風呂・サウナ

 	概 要	備考											
	<p>平成30年10月から平成31年3月の利用者数</p> <p>サウナ 男性、1日5人以内の利用 女性 月に2日～3日の利用</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,928</td> <td>1,891</td> <td>1,572</td> <td>1,566</td> <td>1,716</td> <td>1,863</td> </tr> </tbody> </table> <p>（現状と課題） 管理が困難で事故のリスクが有り、事業の継続について検討する必要がある。</p>	10月	11月	12月	1月	2月	3月	1,928	1,891	1,572	1,566	1,716	1,863
10月	11月	12月	1月	2月	3月								
1,928	1,891	1,572	1,566	1,716	1,863								

4. 社会福社会館及び老人福祉センターの問題点

社会福社会館

- ・ 外壁劣化による剥離・落下
- ・ 2、3階男女トイレの洋式便器が不足
- ・ 権利擁護センター設置など、将来の事業の拡大に向けての部屋の不足
- ・ 機能回復体育訓練場の今後の取り扱い
- ・ その他

老人福祉センター

- ・ 耐震基準を満たしていない
- ・ 各種設備の老朽化
- ・ 維持管理にかかる財政負担
- ・ 浴場の必要性
- ・ 食堂の必要性
- ・ その他

5. 今後の検討事項

○現況と課題について

- (1) 現在、社会福社会館・老人福祉センターで提供しているサービスの必要性
- (2) 経営収支状況(年間収支、補助金・交付金等の整理)の分析
- (3) 市民意向の把握(各種団体へのヒアリング)
- (4) 福祉ゾーンの課題整理

○福祉ゾーン整備の基本的な考え方について

- (1) 上位計画・関連計画における福祉ゾーンの位置づけ
- (2) 福祉ゾーンの土地利用規制の整理(都市計画法、建築基準法、その他)
- (3) 整備方法の比較検討
- (4) 福祉ゾーンの役割と基本的な考え方の整理

○福祉ゾーンの整備方針について

- (1) 機能構成と規模の考え方、空間配置と動線の考え方、管理運営の考え方
- (2) 整備計画案の作成(概算事業費等)

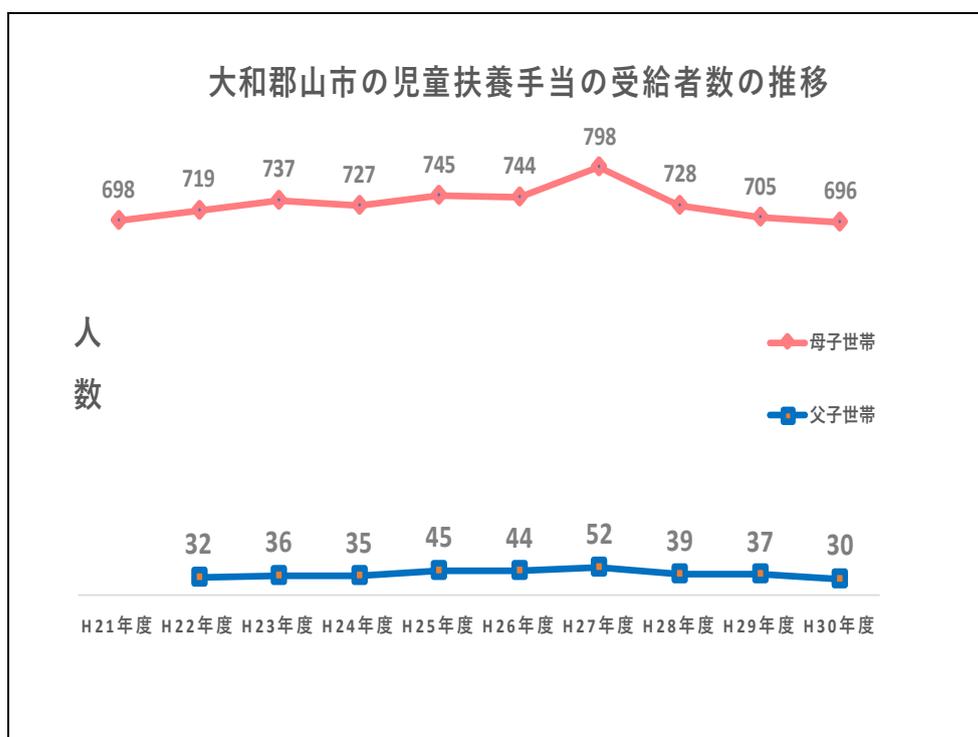
◎児童扶養手当の受給者数の推移(「福祉行政報告例」抜粋)

世帯類型別

(所得オーバーによる不受給者)

年度	受給者数	母子世帯	父子世帯	その他世帯
H21年度	725	698		27
H22年度	777	719	32	26
H23年度	796	737	36	23
H24年度	787	727	35	25
H25年度	817	745	45	27
H26年度	814	744	44	26
H27年度	876	798	52	26
H28年度	800	728	39	33
H29年度	764	705	37	22
H30年度	746	696	30	20

年度	不受給者数	母子・父子世帯	その他の養育者
H21年度	79	42	37
H22年度	82	43	39
H23年度	77	47	30
H24年度	84	53	31
H25年度	79	50	29
H26年度	75	50	25
H27年度	76	51	25
H28年度	94	59	35
H29年度	93	62	31
H30年度	106	78	28



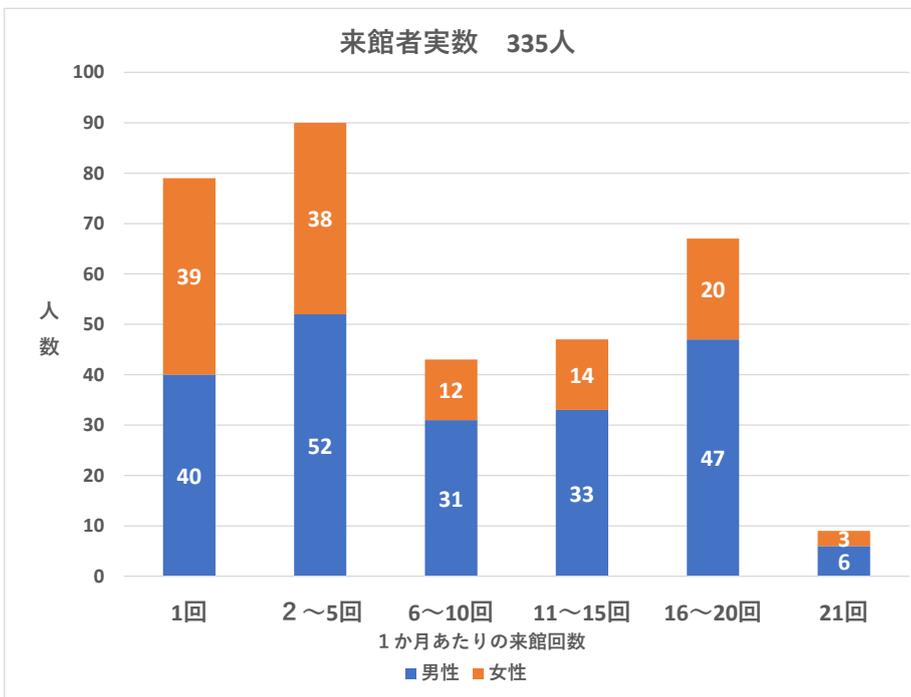
◎老人福祉センターの利用者数(延べ人数) ※令和元年10月分の集計

老人福祉センター利用者数	一般 2,563 人	団体 391 人	合計 2,954 人
うち食堂利用者数	一般 539 人	団体 345 人	合計 884 人

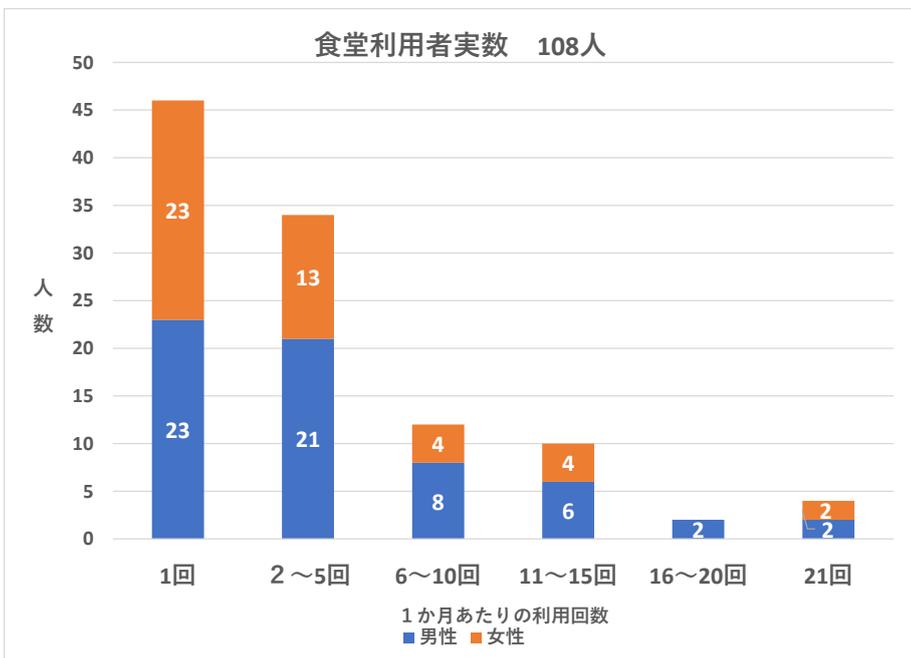


※一般利用者の利用(実数)状況分析 令和元年10月の平日開館日(21日間)の集計

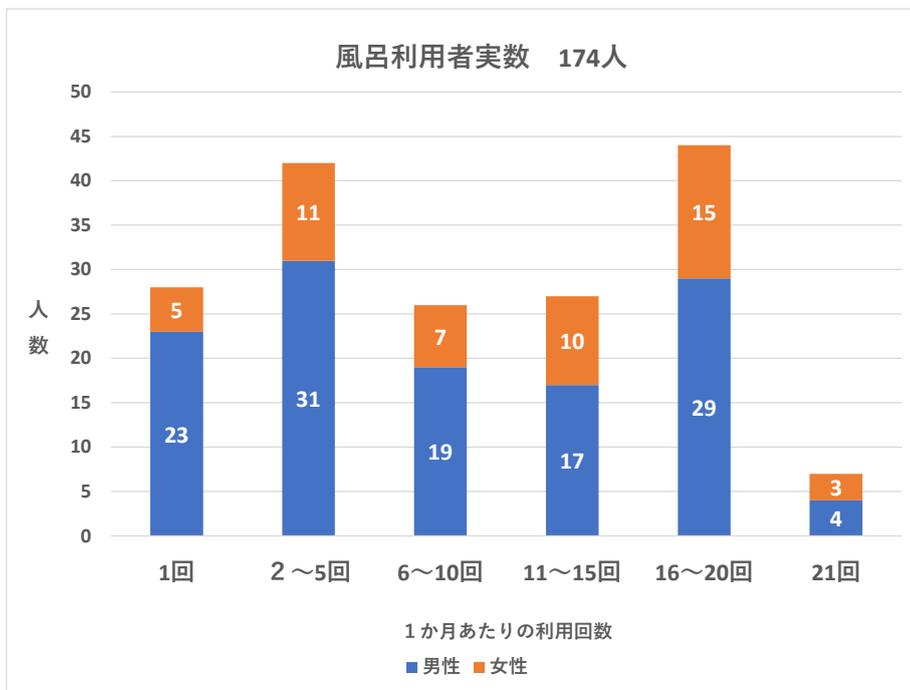
一般利用者限定して平日(土日祝除く)に館された方について、一月当たりの利用回数と目的について、センター職員が手作業で集計したものであり、毎月土曜日も含めて計上している来館利用者数とは差異が生じる。



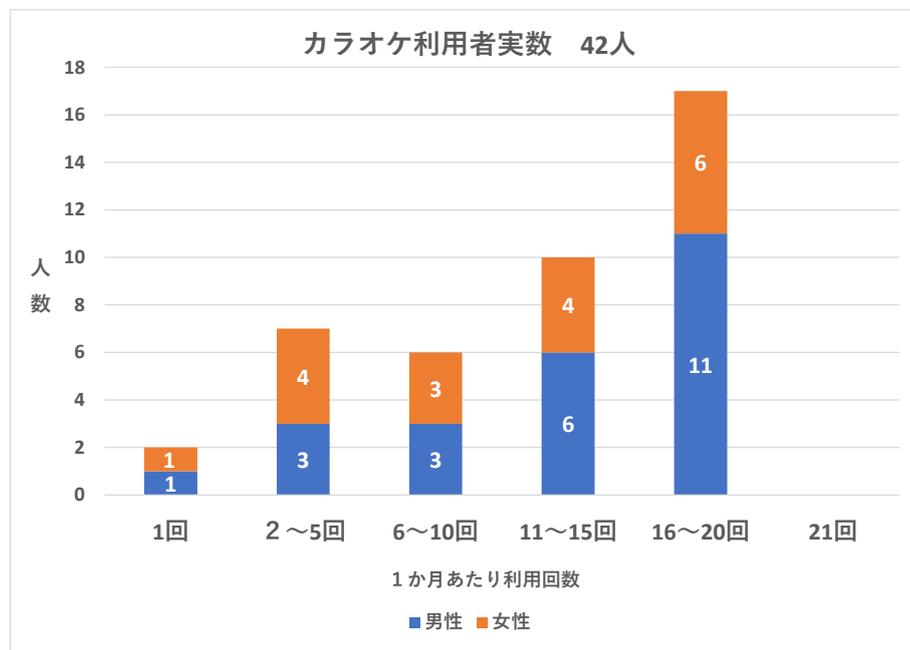
※一人当たり平均利用回数 8.1 回
実利用者数は335人であり、65才以上人口に占める利用実人数はかなり少ない。



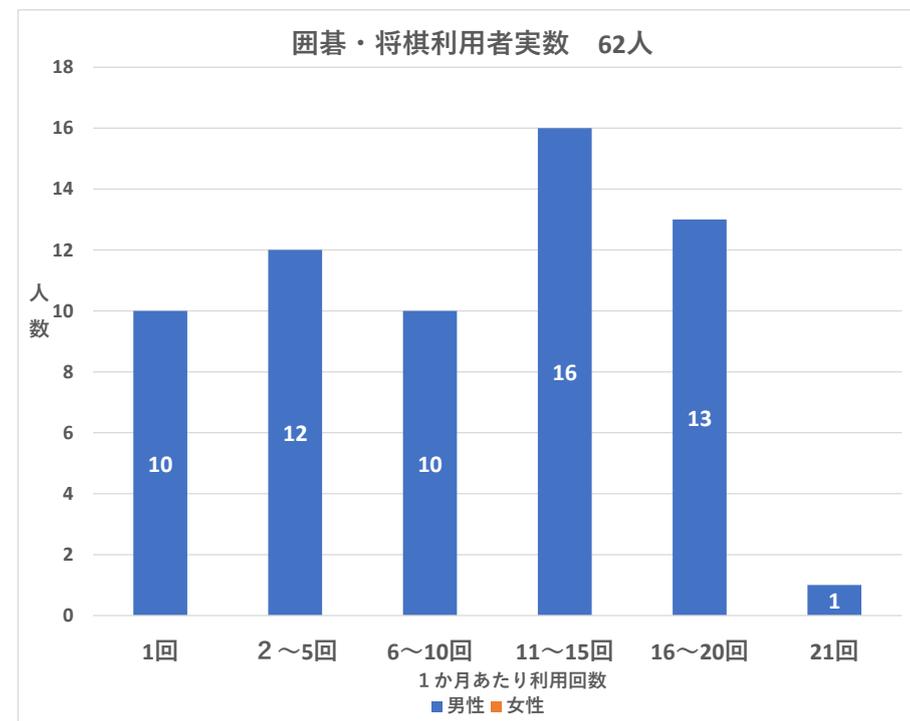
※一人当たり平均利用回数 4.6 回
月数回程度の利用者が大半である。利用者も100人程度であることから、事業の必要性について再検討が必要と思われる。
(参考) 30団体391人中345人が利用 = ※利用率88.2%



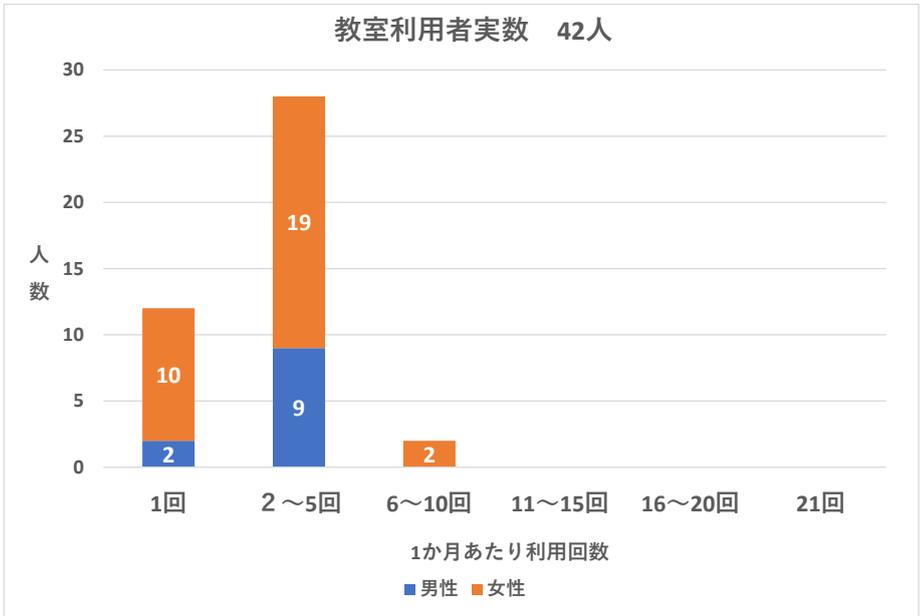
※一人当たり平均利用回数 9.5回
2日に1回以上利用する人が利用者全体の45%に達する。これらの人については家の浴室の代わりに老人福祉センターを利用している可能性もあると思われる。
(参考)※団体利用はほぼない。



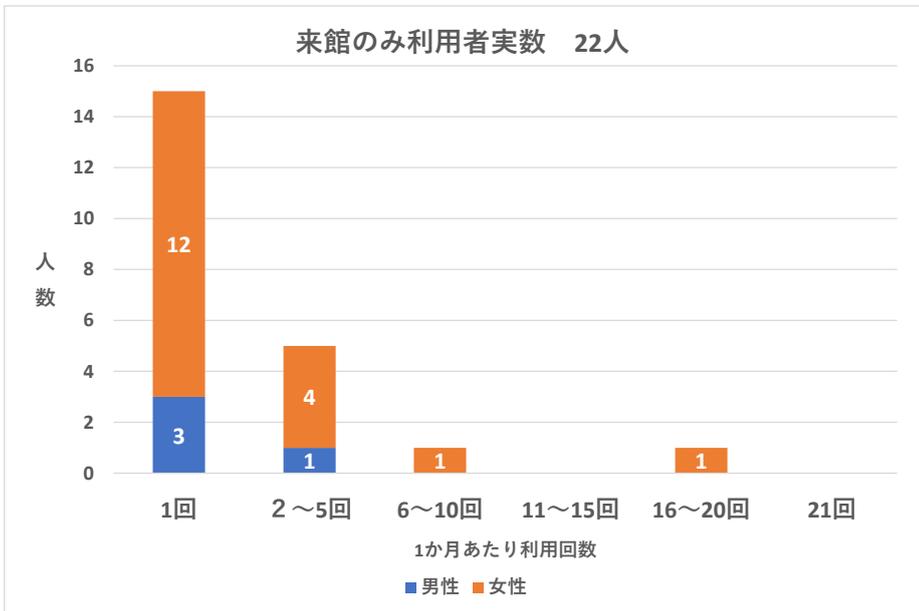
※一人当たり平均利用回数 12回
常連の方による利用が多く、多くの人に広く利用されている状況になっているとは言えない。



※一人当たり平均利用回数 9.6回
1か月あたりの利用回数は均等に分布しており、幅広く多くの人に利用されていると考えられる。



※一人当たり平均利用回数 2.5 回
 月2回~4回ほど開かれている
 民踊、民謡、社交ダンス、詩
 吟教室等の参加実数。



※一人当たり平均利用回数 2.6 回
 来館のみで利用する人は少な
 く、ほとんどの利用者がセン
 ター内で何らかの事業に参加
 していると考えられる。